

視点4 食品の安心・安全



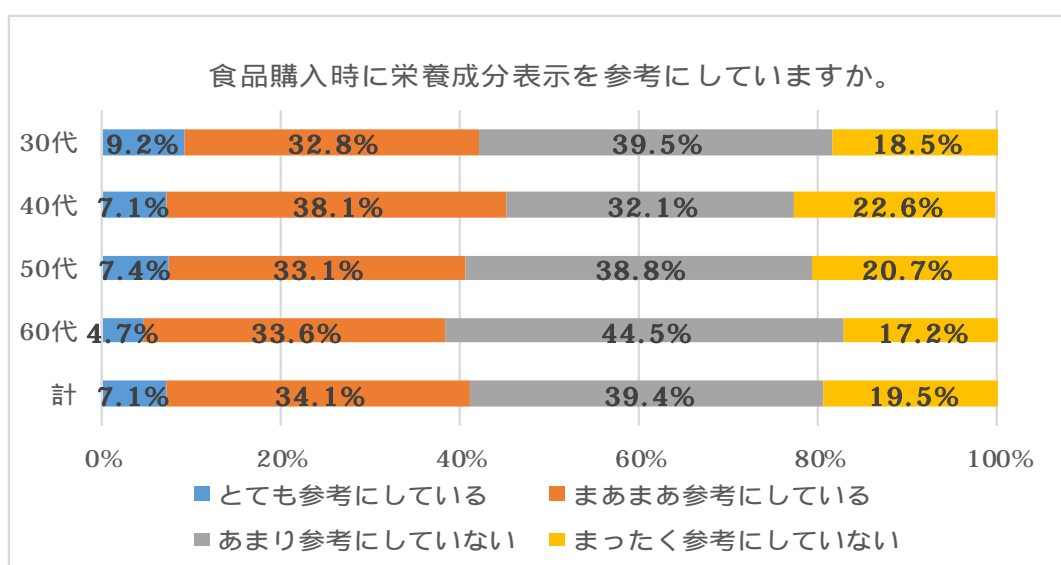
重点行動4 : 食品の安全性の情報提供

食品の安全性に関する基礎的知識を持っている人の状況

ア．食品を買う時に栄養成分表示（カロリー等）を参考にしている人

県の現状値（平成22年度）	町の現状値（平成23年度）
40.9%	41.2%（男性33.0%・女性48.0%）

（平成23年度大和町健康意識調査結果より 端数処理）



とても・まあまあ
参考にしている
41.2%

「とても参考にしている」・「まあまあ参考にしている」と答えた人は41.2%であり参考にしていない人が58.9%と半数以上であることがわかりました。

年代別では、「とても・まあまあ参考にしている」と答えた人は40代が45.2%と最も高く、ついで30代42.0%、50代、60代となっています。

イ．消費生活養成講座修了生数

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
受講生 (延べ)	140名	254名	346名	435名	547名

ウ．食品の放射性物質測定の実績

	野菜類	果物類	きのこ類	穀物類	肉類	合計
平成24年度	40	8	29	6	0	83
平成25年度	20	3	23	0	1	47

放射能性物質の測定は平成24年6月から開始しましたので、平成24年度は6月から3月までの実績となります。平成25年度につきましては、4月から12月までの実績です。